

「かかりつけ歯科医」ありは8割 その内7割が定期的に健診も

～20代から80代の女性1066人に「歯」についてアンケート～

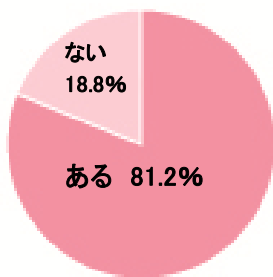
更年期世代からでも間に合う「予防歯科」特集

女性のための生活情報紙「リビング新聞」を発行するサンケイリビング新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 和田直樹）では、「女性の歯」についてアンケートを実施（※1）。6月2日号のリビング新聞（大阪・兵庫 128万6600部発行※2）で、「40代がターニングポイント 後悔しない予防歯科」を特集しています。

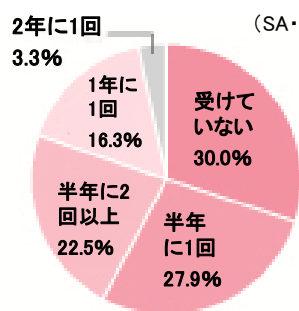
調査では、全世代を通じ、かかりつけ歯科医のいる人は81.2%。その内、70%が定期的に健診を受けるなど「予防」に対する意識が高まっている結果となりました。

また、現在の悩みでは「黄ばみ・着色汚れ」（58.2%）が最多に。「保険適用外のケアで興味あるもの・今後受けてみたいもの」としても、「ホワイトニング」（48.8%）が1位（以下、衛生士によるクリーニング34%、セラミックに交換22.1%）になるなど、`白い歯、への憧れが明らかになりました。

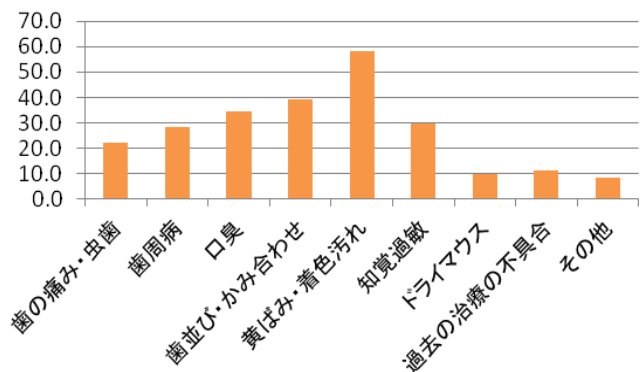
■かかりつけ歯科医の有無 (SA・%)



■かかりつけ歯科医が
いる人の定期健診の頻度 (SA・%)



■口腔内の悩み (MA・%)



■歯周病対策として実行していること

- ・歯周炎で歯がぐらつかないよう、歯と歯ぐきの境目を重点的にブラッシング（京都市・46歳）。
- ・10年以上、定期的に歯科医院へ通っている（さいたま市・46歳）。
- ・3カ月に1度定期検診に通っている（豊中市・65歳）。
- ・夜の歯磨きは鏡を見ながら毎日丁寧に（千歳市・23歳）。
- ・酸っぱいものや炭酸飲料はなるべく避けている（名古屋市・37歳）。
- ・酸っぱいものを食べたらずぐに口をすすぐようにしている（北州市・42歳）。

※1 アンケートは2018年4月12日～18日に、リビングWebで実施。有効回答数1066(20代～80代女性・全国)

※2 (社)日本ABC協会「フリーペーパー発行社レポート2017年7月～12月」の地区別分析部数に基づく

《特集記事では》

大阪大学歯学部予防歯科学分野 教授・天野敦雄先生に取材。40代～50代の歯や歯肉のリスクと対策、「着色汚れはどうすればとれる?」「いい歯医者さんの選び方は?」など、アンケートに寄せられた「歯」に関する疑問への回答を掲載しています。また、公式サイト「リビング大阪Web」では上記情報に加え、正しい理解を促すため、正解者の中から抽選で5人に2000円分の商品券が当たる「予防歯科クイズ」も実施しています。

リビング大阪Web <http://r.living.jp/mrs/osaka/0602yoboshika>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社 編集1部 担当：北村・森下

TEL：06-6647-2034

FAX：06-6647-2094

E-mail：ktmrrika@sankeiliving.co.jp